

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 A氏	2名	福岡県八女市	第三者への事業継承	専門家派遣回数 6回

### 相談内容・現状課題

#### ■相談内容

経営主(茶経営)には10年間雇用していた従業員がおり、その従業員へ事業継承(第三者継承)させたいと考えていたものの、事業継承に当たっての手続きや税務面での対策が分からないため、支援をいただきたい。

#### ■現状課題等

経営主の事業継承に関する情報収集や知識習得が不十分で、事業継承へ至る流れやイメージが具体的になっていなかった。

スムーズに事業継承を進めるためには、継承者及び被継承者お互いの意向を盛り込んだ事業継承計画、事業継承契約の作成が不可欠。

また、税務面での対策についても、検討が必要。

### 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

#### ■支援内容

1年目:『税務面での対策等』(税理士A、普及指導センター)

第三者への資産の譲渡、事業継承をスムーズに行うための体制整備、税制面の課題を検証するため、まずは税理士による支援を実施した。

(1)スムーズな事業継承及び雇用体制の整備、事業の継続性等に顧慮するための法人(株式会社)設立の必要性、法人設立及びその際の税務対策について指導。

(2)現資産(農地)の評価額を算定し、法人への譲渡に際し発生する税金の額を提示。結果、農地や農機具類は、譲渡ではなく事業継承させる法人へのリース(農地は借地)に決定。

2年目:『スムーズな継承に向けた事業継承計画等作成』(税理士B、普及指導センター)

(1)事業継承に詳しい税理士から事業継承の実際の流れ及び解決すべき課題(被継承者の育成、関係者への理解、株式の計画的な分配、継承者のリタイアメント等)や法人化設立及びこれらのスケジュールリングについて指導。

(2)普及指導センターも支援し、事業継承契約書、スケジュール、経営収支計画案を作成。最終指導を受け、事業継承計画の実行へ移行。

### 支援の成果・その後の状況

#### ■支援の成果・その後の状況

事業継承契約と計画、経営シミュレーションに基づいた収支計画を作成する中で、事業継承に関する様々な解決すべき課題、費用等が具体化され、事業継承について継承者・被継承者両者の意向が再確認できた。

事業継承のための法人を設立し、現在、事業継承計画に基づいた行動を開始している。



支援チームによる指導風景



継承者と被継承者

#### ■コーディネーター所感

昨年度から取り組む第三者継承に関する相談案件である。普及指導センターの事前調整の下、1年目は税制面の課題整理、2年目は事業継承計画の作成といった流れで支援を行った。特に2年目の支援で農業分野での事業継承の経験が豊富な税理士を加えることで円滑な計画策定ができた。

最終的な事業継承に向け、必要に応じてフォローアップを行っていきたい。